

保健体育科学習指導案

授業日時 令和6年12月 日 ()
校時 (: ~ :)
対 象 高等部 名
場 所 体育館
指 導 者

1 単元名 みんなでダンスをしよう！

2 生徒の実態

A	<p>【主たる障がい】 視覚障がい</p> <p>【その他の障がい】 知的障がい</p> <p>【アセスメント】 S－M社会生活能力検査</p> <p>【全体的な実態】</p> <ul style="list-style-type: none">・言葉の不明瞭さがある。【本単元に関する実態】・身体の動かし方にぎこちなさがある。・経験したことのある簡単な動きであれば、教員の口頭指示で身体を動かすことができる。・動きを覚えると、一人で身体を動かすことができる。・左右の区別を間違えることがある。・大まかなラジオ体操の動きや両手を上げて左右に揺らす動き、片手を握ってエイエイオーとあげる動き、腰に手を当てて左右にお尻を揺らす動きは、言葉かけを受けてすることができる。・音楽を聴いたり、歌ったりすることが好きで、自ら身体を動かそうとすることがある。・上手いできないときに、「難しい」と言って消極的になることがある。・クラスの友だちと一緒に何かをすることが好きであり、友だちの様子を教員に確認することがよくある。一方で、ライバル心があり、自分のことを主張することがある。・リズムを取ることは難しい。・童謡などのゆったりした曲が好きである。
B	<p>【主たる障がい】 視覚障がい</p> <p>【その他の障がい】 両上肢機能障がい 移動機能障がい 知的障がい</p> <p>【アセスメント】 S－M社会生活能力検査</p> <p>【全体的な実態】</p> <ul style="list-style-type: none">・気持ちが不安定になることがある。・気になることがあると、一方的に尋ねてしまうことがある。

	<p>【本単元に関する実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長距離（階をまたぐ時や教室から体育館への移動など）の場合には車椅子を使用しており、立位や短距離（近隣の教室間や教室からトイレへの移動など）は手つなぎ歩行である。 ・低身長、低緊張で、骨のもろさに注意するよう医師から指示が出ている。 ・動きを覚えると、一人で取り組もうとすることができる。 ・大まかなラジオ体操の動きや両手を挙げて左右に揺らす動き、片手を握ってエイエイオーと上げる動き、腰に手を当てて左右にお尻を揺らす動きは言葉かけや身体的支援を受けてすることができる。 ・好きなアーティストの曲に合わせて、手を振ったり、手拍子をしたりすることがある。 ・友だちと教員の会話の内容に興味深く聞いている。 ・友だちの様子を教員に尋ねることがある。
C	<p>【主たる障がい】 視覚障がい</p> <p>【その他の障がい】 両上肢機能障がい 移動機能障がい 知的障がい</p> <p>【アセスメント】 S－M社会生活能力検査（</p> <p>【全体的な実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・てんかん発作があり、転倒に注意が必要である。 <p>【本単元に関する実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立位や歩行には身体的支援が必要である。 ・繰り返し練習をして、覚えている動きは、教員の言葉のみで動作を行おうとすることができる。 ・ゆったりとした動きである。 ・腕をまっすぐ上げること、膝を伸ばして床に座ることは難しい。 ・両手を頬に当てるポーズや片手を握ってエイエイオーと上げる動き、腰に手を当ててお尻の方に向かってさするような動きは、言葉かけを受けてすることができる。 ・聞き慣れない音楽にはじっと耳を澄ませたり、緊張して手足に多量の汗をかいいたりすることがある。 ・好きな音楽は、真似して歌うような発声をしたり、足を踏みならしてリズムをとったりすることがある。 ・教員や友だちの言葉を模倣した発声をするのが好きである。

3 単元設定の理由

〈生徒観〉

生徒たちは3名とも、全盲もしくは光覚の視覚障がいと知的障がい、うち2名は加えて肢体不自由を併せ有しており、知的障がい者である生徒を教育する場合の教育課程で学習している。視覚障がいのため、動きを模倣してダンスを行うことは難しいが、これまでもダンスに取り組んだ経験があり、口頭での指示や身体的な支援を受けながら、時間をかけて繰り返し練習することで、振りを覚えたり、新たな体の動きを獲得したりすることができる。一連の振りの流れを覚えて自発的に次に移ろうとするこも増えてきているが、獲得しているものはまだ少ない。

また、生徒たちは幼稚部から一緒に過ごしてきており、お互いの存在を意識しながら学校生活を送っていて、友だちと一緒に何かすることの楽しさを感じている。3人とも共通して音楽を聴くことが好きで、それぞれに好きな曲は違うが、授業や休み時間で共有することもある。音楽の楽しみ方もそれぞれであるが、足踏みでリズムを取ったり、手を動かして踊るような動作を取ったりと、3人とも音楽に合わせて身体を動かす楽しさだけでなく、振り付けどおりに踊ったり、友だちと一緒に踊ったりする楽しさや喜びに気づき始めている様子が見られる。

〈教材観〉

本単元は、特別支援学校中学部学習指導要領の保健体育科の内容「G ダンス」の第1段階「ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり、踊ったりすること。」（知識・技能）、「ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。」（思考力、判断力、表現力等）、「ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動すること。」（学びに向かう力、人間性等）の事項に基づいている。

上述の実態にもあるが、生徒たちは、これまでも体育の授業や体育祭・文化祭などでダンスに取り組む機会があった。また、生徒たちが福祉施設に就業体験に行った際には、余暇活動としてダンスを取り入れているところも多く、卒業後の生活においても、ダンスに親しむ機会が多いと思われる。卒業後に向けて、経験したことのある振りのパターンを増やし、より豊かな表現力を身に付けるとともに、友だちと一緒に踊る一体感や楽しさをさらに感じられるようになってほしい。そして、今後の生活をより充実したものにしていってほしいと願っている。

〈指導観〉

生徒たちは、ダンスの振りや全体のイメージを見て確認することができないため、生徒自身が選んだ曲や、考えた振りを取り入れることにより、ダンスを身近に感じられるようにする。また、生徒が振りを覚え、イメージを持って身体を動かせるよう、一つ一つの振りに生徒が考えた名前を付けるようにし、主体的に興味を持って取り組めるようにしたい。そして、様々な振りのパターンを増やすため、生徒の障がいの状態や体の可動域等に配慮しながら、これまで生徒たちがダンスでは経験していない新しい振りを取り入れ、繰り返し練習し、身に付けられるようにしていきたい。

次に、生徒が友だちの様子を知ることができるよう、それぞれの生徒の動きの様子を伝えるための全体への言葉かけは積極的に行うようにしたい。そうすることで、友だちの動きを認め、友だちと一緒に踊っているという実感を持たせ、ダンスという空間の楽しさを味わうことができるようにしていきたい。

最後に、振り返りの時間を設け、それぞれのよかった点を生徒自身が振り返ったり、教員からフィードバックし、次回の課題を見つけたりすることで、ダンスを練習するモチベーションにつなげていけるようにしていきたい。

4 単元の目標

- ・ダンスで、新たな振りを身に付けることができる。（知識及び技能）
- ・ダンスの振りを自分で考えたり、考えたものを友だちに伝えようとしたりする。（思考力、判断力、表現力等）

- ・友だちの考えた振りを取り入れてダンスをしたり、友だちの振り返りを聞こうとしたりする。
(学びに向かう力・人間性等)

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ダンスで、新たな振りを身に付けている。	ダンスの振りを考えようとしている。 考えた振りを友だちに伝えようとしている。	友だちの考えた振りで動こうとしている。 友だちの振り返りを聞こうとしている。

6 指導計画 (全 10 時間)

ダンスの曲や振りを考えよう・・・・・・・・・・3時間

ダンスを練習しよう・・・・・・・・・・6時間(本時5/6時間)

ダンスを披露しよう・・・・・・・・・・1時間

7 本時の目標

A	<ul style="list-style-type: none"> ・「次の振りは？」という教員の問いかけに対して、身体を動かして答えることができる。 ・音楽に合わせて、ダンスをしようとするすることができる。 ・言葉や動きで振り返りをして、友だちに伝えることができる。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・「次の振りは？」という教員の問いかけに対して、発言したり、身体を動かしたりして答えることができる。 ・音楽に合わせて、ダンスをしようとするすることができる。 ・自分の言葉で振り返りをして、友だちに伝えることができる。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・教員や友だちの「〇〇の振り」という言葉を聞いて、身体を動かそうとすることができる。 ・教員の言葉かけと身体的支援を受けて、ダンスをしようとするすることができる。 ・教員と一緒に発声や身振りで、振り返りをして友だちに伝えることができる。

8 本時の展開

※下線部は視覚障がいに対する合理的配慮

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
導入 15分	1 始めのあいさつ	T1：Aの誘導とBの立位・移動の身体的支援を行う。 T2：Cの立位・移動の身体的支援を行う。 T1：その週の日直に始めのあいさつをするように促す。 T1： <u>この授業には、見学者がいることを伝える。</u>		

	2 ラジオ体操	<p>T1：通常のラジオ体操より速度を落とした、<u>動きを説明する詳しいナレーションが入ったラジオ体操の音源を使用する。</u></p> <p>T1：「上」、「伸ばす」など、身体を動かす方向や方法を簡潔な言葉を用いて伝える。</p>		
	3 ストレッチ ・マットへ移動 ・ストレッチ	<p>T1：<u>敷いたヨガマットまで移動するよう伝え、誘導する。</u>（A、B）</p> <p>T2：Cとヨガマットまで移動する。</p> <p>T1：ストレッチの姿勢を簡潔に伝える。</p> <p>T1：腕や膝をまっすぐ伸ばすように言葉かけをする。（A、B）</p> <p>T1：ストレッチの姿勢を取ろうとする様子が見られたら、称賛する。（C）</p> <p>T2：言葉かけと腕を上げたり、体を傾けたりの際に身体的支援をする。（C）</p> <p>T1：生徒がストレッチの姿勢をとれたら、声を合わせて10カウントできるよう声出しのタイミングを伝える。</p> <p>T1：次の動きに自発的に移れた時やストレッチの姿勢が正しくとれているときは、称賛し、<u>全体に伝えるようにする。</u></p>	<p>・言葉かけを受けて、腕や膝を伸ばしてストレッチをすることができる。（A、B）</p> <p>・言葉かけや身体的な支援を受けて、ストレッチをしようとすることができる。（C）</p>	<p>観察</p> <p>観察</p>
展開 30分	4 ダンス ・振りの確認を行う。	<p>T1：使用する音楽を一通り流す。</p> <p>T1：音楽に合わせて、振りを言葉で伝え、タイミングを確認する。</p> <p>T1：音楽なしで、振りの確認をする。</p> <p>T1：ダンスに出てくる順に、振りの確認をする。</p> <p>T1：次の振りは何かを問う発問をする。</p>	<p>・教員の問いかけに、身体を動か</p>	<p>観察</p>

		<p>T1：A、Bが答えた発言や動きを全体に伝えるようにする。</p> <p>T2：Cの発声や動きを全体に伝えるようにする。</p>	<p>して答えることができる。</p> <p>(A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の問いかけに、発言をしたり、身体を動かしたりして答えることができる。(B) ・教員の発言や友だちの様子を聞いて、身体を動かそうとしている。(C) 	<p>発言 観察</p> <p>観察</p>
		<p>T1：腕を上げる振りでは、肘をまっすぐ伸ばせるようにしたり、 <u>「頭の上」など、腕の位置を知らせたりするような言葉かけをする。</u>(A、B)</p> <p>T2：腕を上げる振りでは、肘をできるだけ上げるようにしたり、T1の言葉かけを受けて<u>腕の位置を知らせたりするような身体的支援をする。</u>(C)</p> <p>T1：指の動きに注意を向けられるような言葉かけをする。(A、B)</p> <p>T1：振りを覚えていて、次の振りに自発的に移れた時は称賛し、全体に伝える。(A、B)</p> <p>T1：T2の支援を受けて、動こうとしたときには、称賛し、全体に伝える。(C)</p>		
	・音楽に合わせて踊る。	<p>T1：<u>曲中は振りに対応した言葉を、簡潔に伝える。</u></p> <p>T2：Cに対して、個別に言葉かけをしたり、身体的支援をしたりする。</p> <p>T1：伸ばす動きが小さくなっているときには、肘や指先をまっすぐ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉かけを受けて、音楽に合わせてダンスをすることができる。(A、B) ・教員の言葉かけと身体的支援を受けて、ダンス 	<p>観察</p> <p>観察</p>

		<p>伸ばすように言葉かけをする。 (A、B)</p> <p>T1：動きが揃っているときには、<u>全体に伝える。</u></p> <p>T1：踊った後、生徒に良かったところともう一度練習した方がよいところを伝える。</p> <p>T1：もう一度練習した方が良いところを音楽なしで振りを確認したり、音楽に合わせてタイミングを確認したりする。</p> <p>T1：再度、音楽を流しながら、振りの確認をする。</p> <p>T1：練習したところが、改善しているかどうかを伝えて、良くなっていれば称賛し、良くなっていなければもう一度振りやタイミングを確認する。</p>	<p>をしようとする ことができる。 (C)</p>	
ま と め 5 分	<p>5 本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをし、発表する。 	<p>T1：生徒の振り返りを聞いた後に、よかったところを伝える。 (A、B)</p> <p>T2：Cの発声や身振りを言葉にして、全体に伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や身体の動きで、振り返りをすることができる。(A) ・自分の言葉で振り返りをすることができる。(B) ・教員と一緒に発声や身振りで振り返りをすることができる。(C) 	<p>発言 観察</p> <p>発言</p> <p>観察</p>
	<p>6 終わりのあいさつ</p>	<p>T1：次の時間は練習をし、翌週にダンスを発表することを予告する。</p> <p>T1：日直に終わりのあいさつをするように伝える。</p>		

9 配置

